取扱説明書/保証書

CD ポータブルシステム

RD-W1

COMPACT disc DIGITAL AUDIO

MP3 / WMA / FLAC / WAV

Bluetooth®

・ もくじは4 ページにあります。

お買い上げありがとうございます

ご使用の前に

この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

特に別紙の「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき安全にお使いください。

そのあと本書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

ユーザー登録
のおすすめ

お買い上げいただきました製品について「ユーザー登録」をお願いいたします。ご登録いただきますと製品のサポート情報、製品情報やイベント情報の提供サービスなどをご利用いただけます。下記ウェブサイト、または添付されている場合はハガキのどちらからでもご登録いただけます。

●下記アドレスのホームページより、ご登録ください。

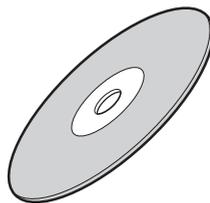
http://www3.jvckenwood.com/reg/

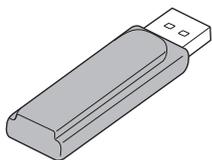
B5A-0205-00

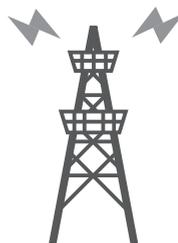
こんなことができます

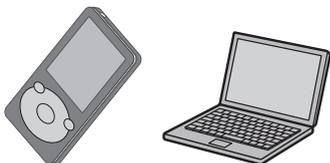
BLUETOOTH 機器を聴こう

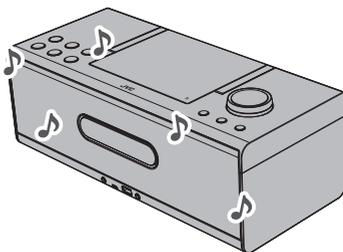
（p. 14）

音楽 CD や音楽ファイル（MP3/WMA/FLAC/WAV）を聴こう

（p. 19）

USB メモリーの音楽ファイル（MP3/WMA/FLAC/WAV）を聴こう

（p. 19）

ラジオ（FM/AM）を聴こう

（p. 25）

外部機器やパソコンの音を聴こう

（p. 27、28）

サウンドモードや重低音を調節して好みの音質で楽しもう

（p. 35）

お知らせ

- 本機の操作で困ったときは、"故障かな？と思ったら" p. 43 をご覧ください。

はじめに

本書の見かた

- 本書では、主にリモコンのボタンを使って操作説明しています。特に表記のないボタンはリモコンのボタンを示しています。本体のボタンに同じマークがある場合には、本体のボタンもお使いいただけます。

本書の表記について

- 本書の説明で「iPod」と表記しているときは、iPod、iPod touch、iPhone、iPad を含みます。
  iPod touch、iPhone、iPad を指すときは、「iPod touch」、「iPhone」、「iPad」と表記します。
- 本書の説明で「Android 端末」と表記しているときは、Android OS を搭載したスマートフォンやタブレット端末などを含みます。
- 本書では、MP3/WMA/FLAC/WAV の説明をする場合、「ファイル」と「トラック」と「曲」、「グループ」と「フォルダー」は同じ意味で使っています。

本機のボタン操作についてのご注意

本機のボタンの押し方には、2 通りあります。

ボタンを短めに押す：

ボタンを軽く短めに「ポン」と押して、早めに指を離してください。強く押し過ぎたり、ゆっくり押すと本機が反応しない場合があります。そのような場合は、押す時間や力を調節して数回試してみてください。

ボタンを長めに押す：

ボタンを長めに押し続け、目的の動作が実行された後に、指を離してください。

レーザー製品についてのご注意

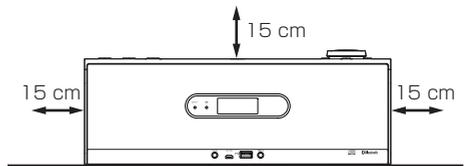
1. この製品は JIS C6802 規格に基づくクラス 1 レーザー製品です。
2. 注意：機器内部には、危険なレーザー放射部があります。分解、改造はしないでください。

この製品の機種銘板やその他の情報は、本体の背面にあります。

本機を設置するときは

本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。

- あお向けや横倒し、逆さまにしない
- 本箱、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロス、新聞、カーテン、毛布などで通風孔をふさがない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- 機器の各面から、図に示すスペースを空けてください。

正面

側面

ご注意

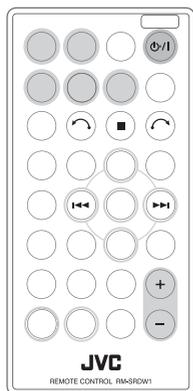
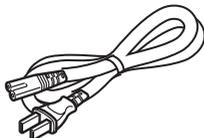
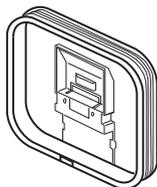
- 本機の使用環境温度は、5℃～35℃です。この範囲外の温度で使用すると、正しく動作しなかったり故障の原因となることがあります。

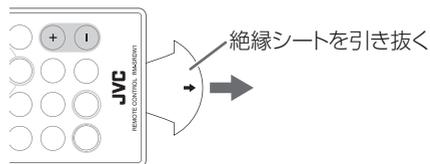
もくじ

準備

付属品を確認する

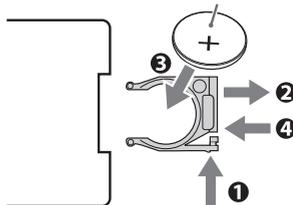
お使いになる前にお確かめください。

リモコン RM-SRDW1（1個）

AC電源コード（1本）

AMループアンテナ（1個）

リモコンを準備する

初めてリモコンを使用するときは、リモコンの絶縁シートを引き抜いてください。

電池を交換する

操作範囲が狭くなったり、本体に近づけないと操作できなくなったりしたときは、新しい電池と交換してください。

電池の＋と－の向きを正しく入れてください。

リチウム電池（CR2025）

お知らせ

付属の電池について

- 付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池と交換してください。
- 電池は「安全上のご注意」（別紙）をお読みの上、正しくお使いください。
- 使用済みの電池は、絶縁テープなどを貼って絶縁し、「所在自治体の指示」に従って廃棄してください。
- 落としたりぶつけたりなど、リモコンに強い衝撃を与えないでください。

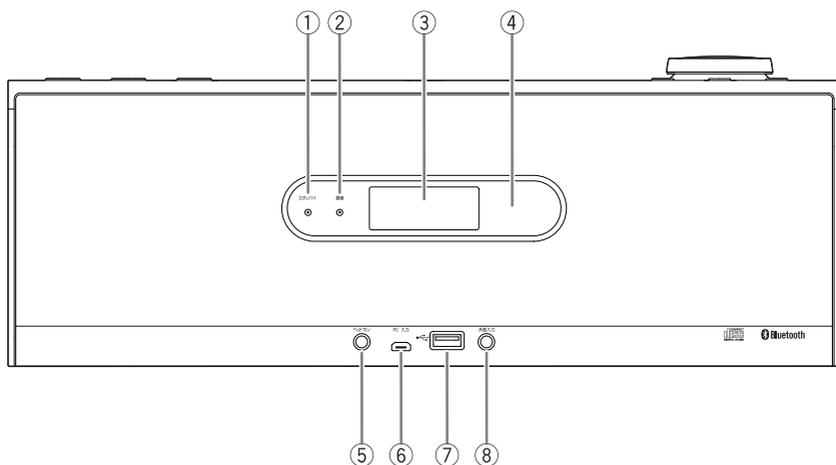
各部の名称

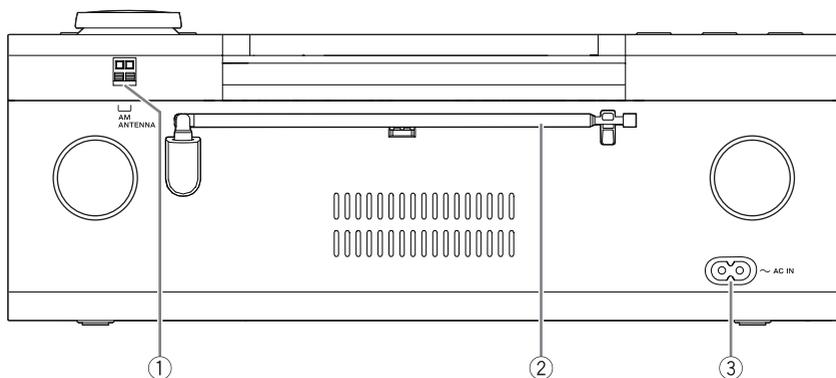
リモコン

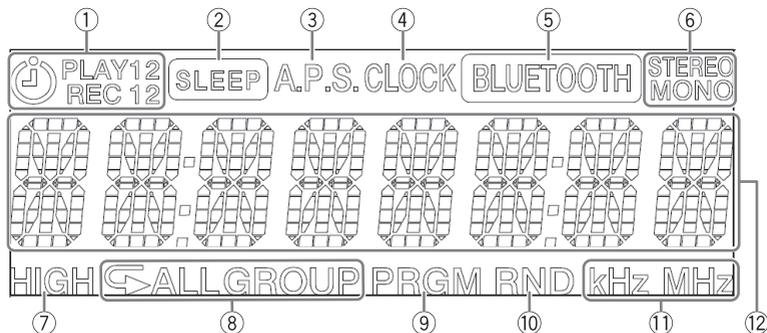
① ソース(音源)切換ボタン
② 表示ボタン
③ **A-B** リピートボタン
④ スピード/ピッチボタン
⑤ リピート(チューナーモード)ボタン
⑥ 再生モードボタン
⑦ 低音/高音ボタン
⑧ 録音モードボタン
⑨ サウンドモードボタン
⑩ 録音/削除ボタン
⑪ **HBS** ボタン
⑫ オートパワーセーブ/**BLUETOOTH** スタンバイボタン
⑬ ⏻/I (電源)ボタン
⑭ スリープボタン
⑮ ■(停止)ボタン
⑯ 5 秒スキップボタン
⑰ 時計/タイマーボタン
⑱ ⏮ / ⏭ / アップ / ダウン / 決定ボタン
⑲ 消音ボタン
⑳ キャンセルボタン
㉑ ＋/ー (音量)ボタン
㉒ ディマーボタン

本体上面

① ●(録音)ボタン
② N マーク(NFC アンテナ)
③ ハンドル
④ 音量つまみ
⑤ ⏻/I(電源)ボタン
⑥ ソース(音源)切換ボタン
⑦ ⏏(CD ドア)開閉マーク
⑧ ⏮ ボタン
⑨ ■(停止)ボタン
⑩ ⏭ ボタン

本体前面

① スタンバイインジケーター
② 録音インジケーター
③ 表示部
④ リモコン受光部
⑤ ヘッドホン端子
⑥ PC 入力端子（マイクロ USB 端子）
⑦ USB 端子
⑧ 外部入力端子

本体背面

① AM ループアンテナ端子
② FM ロッドアンテナ
③ AC IN 端子

表示部

① タイマーアイコン

PLAY ： デイリータイマーが設定されているときに点灯します。デイリータイマー動作中は点滅します。

REC ： 録音タイマーが設定されているときに点灯します。録音タイマー動作中は点滅します。

② SLEEP アイコン

③ A.P.S.アイコン

④ CLOCK アイコン

⑤ BLUETOOTH アイコン

⑥ FM モードアイコン

STEREO ： ステレオ放送受信中に点灯します。

MONO ： FM モードが「MONO」のときに点灯します。

⑦ HIGH アイコン

⑧ リピートモードアイコン

： 1 曲リピートのときに点灯します。（「CD」、「USB」）

ALL ： 全曲リピートのときに点灯します。（「CD」、「USB」）

GROUP： リピートの範囲が現在のグループ内のときに点灯します。（「CD」、「USB」）

⑨ PRGM（プログラム）アイコン

プログラム再生中に点灯します。（「CD」、「USB」）

⑩ RND（ランダム）アイコン

ランダム再生中に点灯します。（「CD」、「USB」）

⑪ kHz / MHz アイコン

放送局の周波数を表示するときに点灯します。

⑫ メインディスプレイ

接続

アンテナの接続が終わってから、電源コードのプラグをコンセントへ差し込んでください。

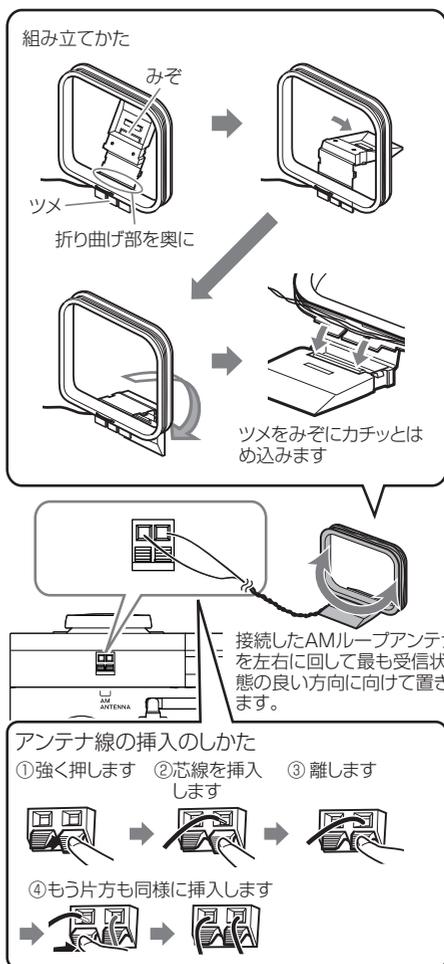
アンテナを接続する

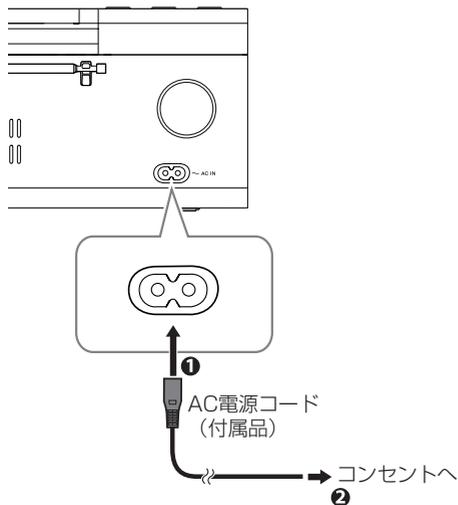
ラジオを聴く前に、必ずアンテナを接続してください。

アンテナは、一般に窓の近くに設置するほうが良好に受信できます。

ご注意

- AM ループアンテナは、アンテナ線が枠に巻かれた状態のままお使いください。枠からはずすとアンテナの効果がなくなり、感度が悪くなります。
- アンテナの導線部分が他の端子やケーブルに触れないようにご注意ください。また、アンテナを他のケーブルから離してください。受信の妨げになることがあります。
- アンテナ線の先端にビニールが付いているときは、ねじりながら抜き取ってください。

AM ループアンテナ(付属品)

電源コードを接続する

付属の AC 電源コードを本機の AC IN 端子に接続してから、コンセントに差し込んでください。

- 出かけるときや長期間使用しないときは、AC 電源コードをコンセントから抜いてください。

ご注意

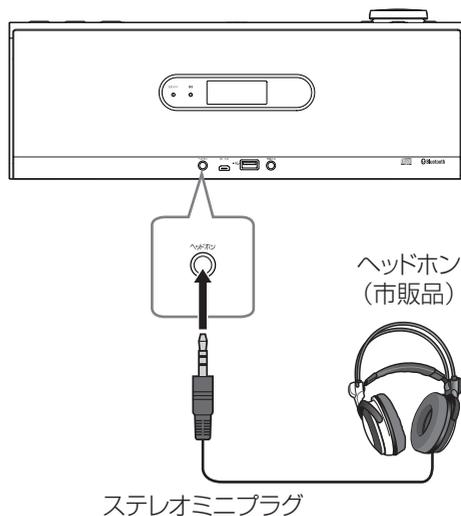
- 火災や感電を防ぐために

  - 付属の AC 電源コード以外は使用しないでください。
  - 付属の AC 電源コードを本機以外の製品には使用しないでください。

ヘッドホンを接続する

ヘッドホンをつける前や、ヘッドホンのプラグを抜き差しする前に、音量を最小にしておいてください。

お知らせ

- ヘッドホンを接続すると、スピーカーから音が出なくなります。
- 市販の標準 3 極タイプ･ステレオミニプラグのヘッドホンをお使いください。

基本操作

電源を入れる／切る

リモコン　　　　本体

お知らせ

- 各ソース(音源)ボタンを押して電源を入れることもできます。
- BLUETOOTH スタンバイ(p. 13)にするには、電源が切れているとき(スタンバイ中)に、リモコンの[オートパワーセーブ/BLUETOOTH スタンバイ]ボタンを押します。

時計を合わせる

タイマーなどを利用するために本機の時計を設定します。

時計は 24 時間表示です。

1　時計設定表示にする

- 「CLOCK」アイコンが点灯します。
- 時計を再設定する場合は、[時計/タイマー]ボタンを押したあと、[アップ] / [ダウン]ボタンをくり返し押して「CLOCK」を表示させ、[決定]ボタンを押してください。

2　「時」を合わせる

（くり返し押す）

3　手順 2 を繰り返して、「分」を合わせる

「分」を合わせると、「CLOCK OK」と表示され、設定が完了します。

お知らせ

- 操作の途中で[キャンセル]を押すと前の手順に戻ります。
- 本機の時計は月に 1、2 分程度のズレが生じる場合があります。定期的に時計を合わせ直すことをおすすめします。
- 電源を抜いたり、停電で電源が切れたりした場合は、時計を合わせ直してください。

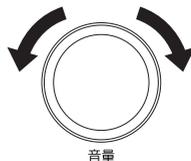
ふだんの使いかた

1　ソース(音源)を選ぶ

リモコン

本体

2　音量を調節する

リモコン　　　　本体

（くり返し押す）　　　　（回す）

- 調節範囲: MIN、1 ～ 39、MAX

一時的に消音する

消音中は、「MUTING」表示が点滅します。

もう一度押すか、[+]（音量）ボタンを押すと元の音量に戻ります。

表示部の明るさを設定する

（くり返し押す）

押すたびに表示部の明るさが切り換わります。

DIM OFF ： 明るい

DIM 1 ： やや暗い

DIM 2 ： 暗い

DIM 3 ： 消灯

お知らせ

- お買い上げ時の設定は「DIM OFF」です。
- 設定は電源を切っても記憶されます。

スタンバイモードを切り換える

本機では、2 種類のスタンバイモードを設定できます。

本機の電源が切れているとき（スタンバイ中）に

オートパワーセーブ/ BLUETOOTH スタンバイ

- BLUETOOTH スタンバイモード：
  スタンバイインジケーターが消灯し、ディスプレイに「BT STBY」と表示されます。
  本機の電源が切れているときでも、BLUETOOTH 機器と接続できます。
- ノーマルスタンバイモード：
  スタンバイインジケーターが点灯し、表示部に時計が表示されます。
  節電状態になります。本機の電源が切れているときは、BLUETOOTH 機器と接続できません。

オートパワーセーブ（節電機能）を設定する

消音状態などが 15 分間続くと、自動で電源が切れる機能です。

お買い上げ時には、オートパワーセーブはオンになっています。

解除または再設定する場合は、以下の操作をしてください。

オートパワーセーブを解除／再設定する

オートパワーセーブ/ BLUETOOTH スタンバイ

（くり返し押す）

一度押すと現在の設定を表示し、さらに押すと設定が切り換わります。

オートパワーセーブがオンのとき、「A.P.S.」アイコンが点灯します。

APS ON ： オートパワーセーブを設定します。

APS OFF ： オートパワーセーブを解除します。

オートパワーセーブがオンのとき、以下のような状態で約 15 分間何も操作が行われない場合、本機の電源が自動的に切れます。

- 音量が「MIN」のとき、または消音しているとき
- ソース（音源）が「USB」または「BLUETOOTH」で、機器を接続していないとき
- ソース（音源）が「USB」または「CD」で、停止状態のとき
- ソース（音源）が「AUDIO IN」または「PC IN」で、音声が入力されていないとき

お知らせ

- 15 分間のカウント中は、1 分ごとに「APS」と表示します。
- 本機の電源が切れる約 30 秒前に「APS」表示が点滅を始めます。
- 途中で機器の着脱やボタン操作を行なった場合は、その時点から 15 分間カウントし直します。
- デイリータイマーやスリープタイマーの動作中もオートパワーセーブは働きます。

BLUETOOTH 機器を聴く

お手持ちのスマートフォンやポータブルプレーヤーなどの BLUETOOTH 機器の音を本機で聴くことができます。

初めて接続するときは、BLUETOOTH 機器と本機を登録（ペアリング）する必要があります。

NFC について

お使いの BLUETOOTH 機器が NFC に対応している場合は、本機にタッチするだけで、かんたんに BLUETOOTH 接続ができます。

お使いの BLUETOOTH 機器が NFC に対応していない場合は、手動で BLUETOOTH 接続をしてください。（p. 15）

Android 機器（スマートフォンなど）の NFC の有無を確認する

スマートフォンの「設定」から「その他の設定」をタップし、NFC 設定があることを確認してください。

ご注意

- お使いの BLUETOOTH 機器によって、画面に表示されるメニュー項目は異なります。
- お使いの BLUETOOTH 機器が NFC に対応しているかどうか不明なときは、手動で接続してください。（p. 15）
- おサイフケータイなどの機能に影響する場合がありますので、ご利用の NFC 決済アプリのホームページなどをご確認ください。

お知らせ

- Android 機器では、NFC 対応のほか OS が Android 4.1 以降である必要があります。お使いの機器をご確認ください。

NFC を使って BLUETOOTH 機器を接続する

本機と BLUETOOTH 機器**（以下、相手機器）**を接続するときは、電源オンあるいは BLUETOOTH スタンバイの状態からペアリングしてください。

1　相手機器の電源を入れ、NFC を有効にする

相手機器によって、画面に表示されるメニュー項目は異なります。
詳しくは、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

Android 機器（スマートフォンなど）の操作例

① 「設定」➡「その他の設定」をタップする

② NFC 設定 ➡「Reader/Writer,P2P」をオンにする

2　相手機器の NFC アンテナ部分を本機の N マークにタッチする

- 近づけるだけでは作動しません。マークにタッチしてください。相手機器によっては、わずかなズレでも通信できず、ペアリングできないことがあります。
- スマートフォンの画面に「BLUETOOTH 接続しますか？」などの表示が出た場合は、「はい」をタップしてください。

本機と相手機器がペアリング（接続）されます。

「BLUETOOTH」アイコンが点灯します。

お知らせ

- ペアリングが完了したら、相手機器を本機から離してください。相手機器で本機にタッチしたままにすると、接続が切れるなど不安定な状態になります。
- NFC でタッチした後に接続が切れる場合は、相手機器（スマートフォンなど）側の「Bluetooth」を「オン」にしてください。
- ペアリングできないときは、相手機器で本機のペアリング情報を削除してから、やり直してください。**それでも接続できないときは、手動で接続してください。**（p. 15）

手動で BLUETOOTH 機器を接続する

本機と BLUETOOTH 機器**(以下、相手機器)**を初めて接続するときは、以下の方法でペアリングしてください。

1 **ソース(音源)を「BLUETOOTH」にする**

リモコン　　　　本体

BLUETOOTH

2 **相手機器の電源を入れ、ペアリングができる状態にする**

相手機器によって、画面に表示されるメニュー項目は異なります。
詳しくは、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

Android 機器(スマートフォンなど)の操作例

① 「設定」➡「無線とネットワーク」の順にタップする

② 「Bluetooth」にチェックマークがついていない場合は、「Bluetooth」をタップし、チェックマークをつけて、「オン」にする

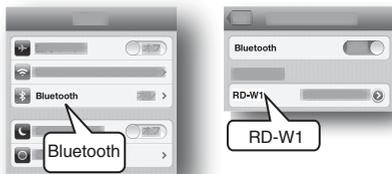
③ 「Bluetooth 設定」➡「端末のスキャン」(もしくは同じ意味の項目)の順にタップする

iOS 機器(iPhone/iPad/iPod touch)の操作例

以下のいずれかの手順を参考にしてください。

「設定」➡「Bluetooth」の順にタップする
または、
「設定」➡「一般」➡「Bluetooth」の順にタップする

上記のいずれの場合も、「Bluetooth」がオフになっている場合は、「オン」にする

3 **相手機器で「RD-W1」を選ぶ**

- ペアリングが完了し、相手機器と本機が自動的に接続されます。
- 「BLUETOOTH」アイコンが点灯します。
- ペアリング中にパスキー(暗証番号)の入力を求められた場合は、「0000」を入力してください。

4 **相手機器を再生する**

あらかじめ、相手機器の音楽再生アプリを立ち上げておいてください。

リモコン　　　　本体

BLUETOOTH

- 自動的に再生が始まる場合もあります。
- 再生が始まらない場合は、相手機器側で再生してください。

お知らせ

- ソース(音源)を BLUETOOTH に切り換えると、本機と最後に接続した BLUETOOTH 機器と再接続します。
- ペアリングできないときは、相手機器で本機のペアリング情報を削除してから、やり直してください。
- BLUETOOTH 機器によっては、本機と接続できない場合があります。

BLUETOOTH 機器の基本操作

再生する

最後に接続した BLUETOOTH 機器と接続し、再生することができます。

リモコン　本体

BLUETOOTH

一時停止する

リモコン　本体

BLUETOOTH

・もう 1 度押すと、一時停止を解除し再生します。

停止する

リモコン　本体

曲を選ぶ

リモコン　本体

（くり返し押す）

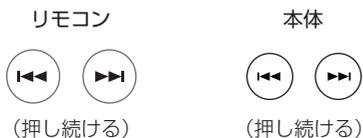
（くり返し押す）

早戻し/早送りする

再生中に

リモコン　本体

（押し続ける）

（押し続ける）

・通常再生に戻すには、ボタンをはなします。

接続を解除する

NFC で解除する場合

現在接続している相手機器の NFC アンテナ部分を本機の N マークにタッチします。

「BT READY」と表示され、「BLUETOOTH」アイコンが消灯します。

手動で解除する場合

相手機器の BLUETOOTH 接続をオフにします。

「BT READY」と表示され、「BLUETOOTH」アイコンが消灯します。

お知らせ

以下の場合も自動的に接続が解除されます。

・本機または相手機器の電源を切ったとき（BLUETOOTH スタンバイを除く）

他の BLUETOOTH 機器を接続する

リモコン　本体

BLUETOOTH

（押し続ける）　（押し続ける）

「DISCNCT」と表示され、接続が解除されます。

解除が完了すると「BT READY」と表示され、「BLUETOOTH」アイコンが消灯します。

ご注意

・本機に接続できる機器は、BLUETOOTH バージョン 2.1+EDR、BLUETOOTH プロファイルの A2DP と AVRCP に対応している必要があります。
・BLUETOOTH で接続できる距離は、最大 10m です。お使いの環境によっては、これよりも短くなります。
・iPhone やスマートフォンを BLUETOOTH 接続した状態では、電話やメールなどの着信音も本機のスピーカーから流れる場合があります。
・本機にはマイク機能は搭載されておりません。通話する場合には、本機との接続を解除するか、iPhone/スマートフォンのマイクをお使いください。
・BLUETOOTH 機器によっては、本機と接続できない場合があります。
・BLUETOOTH 機器によっては、操作（再生、一時停止、停止、早戻し/早送り）ができない場合があります。

リモコンアプリを使う

BLUETOOTH に対応した Android 端末**(以下、相手機器)**から、専用リモコンアプリ「JVC Audio Control BR1」を使って、本機を遠隔操作することができます。

リモコンアプリを利用するときは、相手機器と本機を登録(ペアリング)する必要があります。(p. 14)

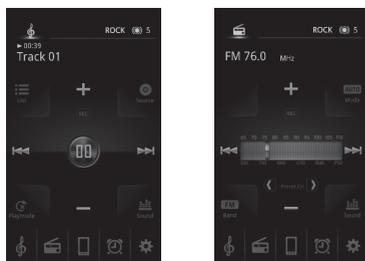
お知らせ

- アプリは Google Play(Play ストア)から検索して、ダウンロードしてください。
- アプリの画面や内容は変更になる場合があります。
- リモコンアプリを使うためには、お使いの Android 端末が Android OS 2.3 以降で、BLUETOOTH プロファイルの SPP(Serial Port Profile) に対応している必要があります。
- すべての端末での動作を保証するものではありません。

リモコンアプリでは次の操作が行えます。

- 電源の入/切
- CD/USB の音楽再生
- ラジオの選局
- タイマー設定
- 音量の調節
- その他

操作など詳しくは、リモコンアプリのヘルプをご覧ください。

※リモコンアプリの操作画面例です

左:CD 操作画面例/右:FM 操作画面例

ご注意

- リモコンアプリで本機の電源を入れるには、あらかじめ「BLUETOOTH スタンバイ」にしておく必要があります。「BLUETOOTH スタンバイ」については、右記 "BLUETOOTH スタンバイにする" をご覧ください。

BLUETOOTH スタンバイにする

相手機器から、リモコンアプリを使って、遠隔操作で本機の電源を入れることができます。

相手機器で電源を入れるには、BLUETOOTH スタンバイにしておく必要があります。

本機の電源が切れているとき(スタンバイ中)に

オートパワーセーブ/
BLUETOOTH
スタンバイ

- スタンバイインジケーターが消灯し、ディスプレイに「BT STBY」と表示されます。
- BLUETOOTH スタンバイを解除するには、もう一度押します。「BT STBY」の表示が消えます。
- 解除するときは 10 秒ほど待ってから解除の操作をしてください。

リモコンアプリで電源を操作する

お知らせ

- あらかじめ相手機器にリモコンアプリをインストールしておく必要があります。

1 **相手機器で「Bluetooth」機能をオンにする**

- 詳しくはお使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

2 **機器一覧から「RD-W1」を選ぶ**

3 **リモコンアプリを立ち上げる**

4 **リモコンアプリの操作画面右下にある「設定」アイコンから電源を操作する**

電波について

- 本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けた部品を使用しています。(または、受けた部品を使用しています)。したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。日本国内以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。

  –分解/改造すること

  –本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと

- 本機は 2.4GHz 帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。ほかの無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

使用上のご注意

本機の使用周波数帯(2.4GHz)では、電子レンジ等の産業･科学･医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、当社カスタマーサポートセンターにご連絡頂き、混信回避の処置等についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、当社カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

- 製品に表示している周波数表示の意味は以下の通りです。

2.4 FH 1

2.4 ： 2.4GHz 帯を使用する無線機器です。
FH ： FH-SS 変調方式を表します。
1 ： 電波与干渉距離は 10 mです。
■■■： 全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能です。

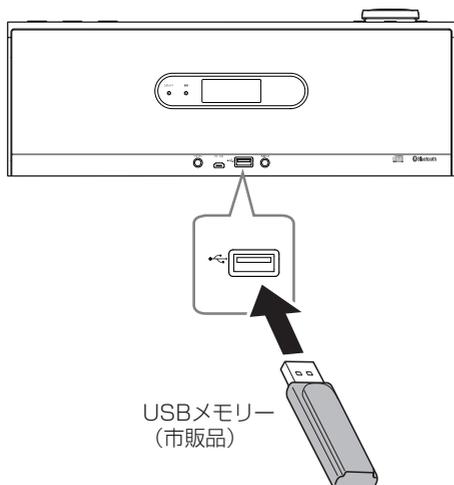
- 使用可能距離は見通し距離約 10m です。鉄筋コンクリートや金属の壁などをはさんでトランスミッターとレシーバーを設置すると電波を遮ってしまい、音楽が途切れたり、出なくなったりする場合があります。本機を使用する環境により伝送距離が短くなります。
- 下記の電子機器と本機との距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、雑音が発生するなどの不具合が生じることがあります。

  - 2.4GHz の周波数帯域を利用する無線 LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話などの機器の近く。電波が干渉して音が途切れることがあります。
  - ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CS チューナー、VICS などのアンテナ入力端子を持つ AV 機器の近く。音声や映像にノイズがのることがあります。

- 本機は電波を使用しているため、第 3 者が故意または偶然に傍受することが考えられます。重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。

USB メモリー/CD を聴く

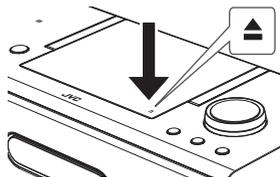
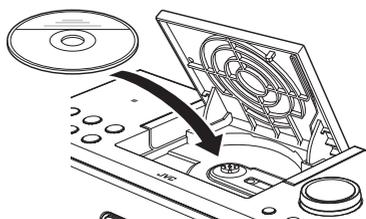
USB メモリー/CD を準備する

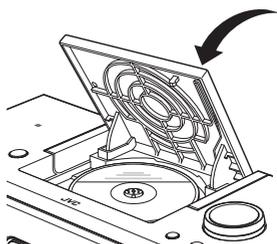
USB メモリーを接続する

ご注意

- USB メモリーは、電源が切れた状態で取りはずしてください。再生中または録音中に取りはずすと、ファイルや USB メモリーのファイルシステムが破損する恐れがあります。
- ソニー製ウォークマンなど、独自のソフトウェアで音楽ファイルを管理しているオーディオプレーヤーの USB 再生には対応しておりません。
BLUETOOTH 接続または外部入力端子に接続して、再生してください。（p. 27）

CD を入れる

1 **CD トレイのカバーを開ける**

- 手で「カチッ」と押してください

2 **CD を入れる**

- 「カチッ」と音がするまで CD を入れてください。

3 **CD トレイのカバーを閉める**

- CD 認識中は「CD READ」と表示されます。

USB メモリー/CD の基本操作

再生する

リモコン　本体

停止する

リモコン　本体

お知らせ

- MP3/WMA/FLAC/WAV ファイルは、停止後に再び再生すると、再生していた曲の先頭から再生します（リジューム機能）。停止中にもう 1 度[■] ボタンを押すと、リジューム機能は解除されます。
- 他のソース（音源）が選択されると、リジューム機能は解除されます。

一時停止する

リモコン　本体

もう一度押すと、一時停止を解除し、再生します。

曲を選ぶ

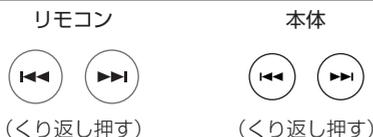
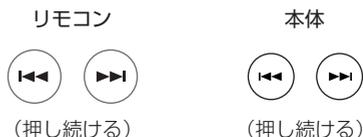
リモコン　本体

（くり返し押す）　（くり返し押す）

早戻し/早送りする

再生中に

リモコン　本体

（押し続ける）　（押し続ける）

[|◄◄] / [►►|] ボタンから指を離すと、通常再生に戻ります。

お知らせ

- 早戻し/早送りの速度は、通常再生の 5 倍です。ファイルによっては、早戻し/早送りの速度が遅くなることがあります。

グループを選ぶ（MP3/WMA/FLAC/WAV ファイルのみ）

（くり返し押す）

5 秒スキップ機能を使う

再生中に

押すたびに、5 秒ずつ前後にスキップします。

プログラム再生をする

USB メモリーまたは CD の曲を、32 曲までお好みの順で再生します。

1 **USB メモリーまたは CD の再生を停止する**

2 **「PROGRAM」を選ぶ**

・「PRGM」アイコンが点灯します。

3 **曲を選ぶ**

リモコン

（くり返し押す）

本体

（くり返し押す）

・プログラムを登録するときは、グループ番号で曲を探すことはできません。

4 **曲を登録する**

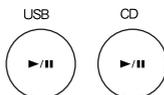
5 **手順 3～4 をくり返して、他の曲を登録する**

6 **再生する**

リモコン

本体

・プログラムした順序で曲が再生されます。

・設定中および再生中は、「PRGM」アイコンが点灯します。

プログラム内容を確認する

プログラム再生停止中に

（くり返し押す）

登録した曲が順に表示されます。

プログラムに曲を追加する

プログラム再生停止中に

1 **曲を選ぶ**

リモコン

（くり返し押す）

本体

（くり返し押す）

2 **曲を登録する**

・プログラムの最後に曲が追加されます。

登録した曲を削除する

プログラム再生停止中に

押すたびにプログラムの最後の曲が取り消されます。

お知らせ

・プログラム再生停止中に[■]ボタンを押すと、プログラム内容をすべて消去することができます。

プログラム再生を解除し内容を消去する

プログラム再生停止中に「NORMAL」を選ぶ

プログラム内容が消去されます。

・以下の場合もプログラム内容が消去され、プログラム再生が解除されます。

- 電源を切る
- ソース（音源）を変える
- ソース（音源）が「USB」のときに、USB メモリーを取りはずす
- ソース（音源）が「CD」のときに、CD を取り出す

リピート再生をする

再生中または停止中に

1 **リピートの種類を選ぶ**

（くり返し押す）

一度押すと現在の設定を表示し、さらに押すと設定が切り換わります。

RPT OFF ： リピート再生を解除します。

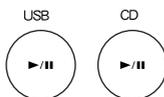
RPT 1 ： 現在の曲をくり返します。設定中は「 」アイコンが点灯します。

RPT GR* ： 現在のグループの曲をくり返します。設定中は「 GROUP」アイコンが点灯します。

RPT ALL ： USB メモリーまたは CD のすべての曲をくり返します。設定中は「 ALL」アイコンが点灯します。

* MP3/WMA/FLAC/WAV のみ

2 **（停止中のときは）再生する**

リモコン　本体

お知らせ

- プログラム再生中に「RPT ALL」にすると、プログラムをリピート再生します。
- ランダム再生中に「RPT ALL」にすると、ランダム再生をリピートします。

リピート再生を解除する

「RPT OFF」を選ぶ

（くり返し押す）

- 以下の場合もリピート再生は解除されます。
  - 電源を切る
  - ソース（音源）を変える
  - ソース（音源）が「USB」のときに、USB メモリーを取りはずす
  - ソース（音源）が「CD」のときに、CD を取り出す

曲の一部をリピート再生する

1 曲の中で、範囲を指定してリピート再生します（A-B リピート機能）。

再生中に

1 **リピート開始位置（A）を指定する**

- 「RPT A」と表示された後、「A--B」と表示されます。「B」の文字が点滅します。

2 **そのまま、リピート停止位置（B）まで曲を再生する**

- [⏮] / [⏭] ボタンを押し続けると、早戻しまたは早送りして、リピート停止位置（B）を探せます。
- リピート開始位置（A）まで早戻しした場合は、A-B リピートが取り消されます。
- 曲の最後まで早送りした場合は、A-B リピートが取り消され、次の曲が再生されます。

3 **リピート停止位置（B）を指定する**

- 「RPT B」と表示された後、「RPT A--B」と表示されます。
- 指定した範囲（A～B）をリピート再生します。

お知らせ

- A-B リピートを設定すると、プログラム再生、リピート再生、ランダム再生は解除されます。

A-B リピートの設定を取り消す

A-B リピートの設定中に

- 以下の場合も、A-B リピートの設定が取り消され、通常再生に戻ります。
  - 電源を切る
  - ソース（音源）を変える
  - 他の曲を選ぶ
  - [■] ボタン、[リピート] ボタン、[再生モード] ボタンのいずれかを押す
  - ソース（音源）が「USB」のときに、USB メモリーを取りはずす
  - ソース（音源）が「CD」のときに、CD を取り出す

A-B リピートを解除する

A-B リピート再生中に

- 以下の場合も、A-B リピートが解除され、通常再生に戻ります。
  - 電源を切る
  - ソース（音源）を変える
  - 他の曲を選ぶ
  - 早戻し/早送りする
  - [■] ボタン、[リピート] ボタン、[再生モード] ボタンのいずれかを押す
  - ソース（音源）が「USB」のときに、USB メモリーを取りはずす
  - ソース（音源）が「CD」のときに、CD を取り出す

ランダム再生をする

再生中に「RANDOM」を選ぶ

「RND」アイコンが点灯します。

お知らせ

- グループ内ランダムではなく、全曲ランダムになります。
- ランダム再生中に[|◀◀]ボタンを押しても、前の曲に戻ることはできません。

ランダム再生を解除する

ランダム再生中に「NORMAL」を選ぶ

- 以下の場合もランダム再生は解除されます。
  - 電源を切る
  - ソース(音源)を変える
  - ソース(音源)が「USB」のときに、USB メモリーを取りはずす
  - ソース(音源)が「CD」のときに、CD を取り出す
  - 停止する

再生スピードや音程を調整する

再生中に

(くり返し押す)

一度押すと現在の設定を表示し、さらに押すと設定が切り換わります。

NORMAL : 通常の再生スピードや音程に戻します。

SPEED : 再生スピードを調整します。

PITCH : 音程を調整します。

お知らせ

- FLAC/WAV ファイルは、再生スピードや音程を調整できません。
- 調整後に設定を変えると、通常の再生スピードや音程に戻ります。
- 調整後に他の曲やグループを選ぶと、通常の再生スピードや音程に戻ります。

再生スピードを調整する

再生中に

(くり返し押す)

(くり返し押す)

「SPEED」表示が点灯している間に[アップ]/[ダウン]ボタンを押して、再生する早さを調整します。

- 調節範囲: −6 〜 +6

音程を調整する

再生中に

(くり返し押す)

(くり返し押す)

「PITCH」表示が点灯している間に[アップ]/[ダウン]ボタンを押して、再生する音程を調整します。

- 調節範囲: −6 〜 +6

ラジオを聴く

AM 放送を聴く前に、必ず AM ループアンテナを接続してください。（p. 10）

FM 放送を聴く前に、必ず FM ロッドアンテナを伸ばしてください。

放送局を受信する

1　「FM」または「AM」を選ぶ

リモコン	本体
FM/AM	ラジオ/入力切替
（くり返し押す）	（くり返し押す）

2　放送局を選ぶ

リモコン	本体
⏮ ⏭	⏮ ⏭

- 押し続けると、自動的に選局を始め、放送を受信すると停止します。選局を途中で停止したいときは、もう一度押します。
- くり返し押すと、FM では 0.1 MHz ずつ、AM では 9 kHz ずつ受信周波数が変わります。

FM モードを切り換える

FM ステレオ放送が聴きにくいときは、モノラル受信にすると聴きやすくなります。

（くり返し押す）

押すたびに設定が切り換わります。

AUTO　：ステレオ自動受信
受信中は「STEREO」アイコンが点灯します。

MONO：モノラル受信
「MONO」アイコンが点灯します。

お知らせ

- お買い上げ時の設定は「AUTO」です。
- モノラル受信では、受信状態は改善されますがステレオ効果は失われます。

受信状態を改善する（アンテナ調整）

受信状態が良くないときは、放送を聴いて確認しながら、アンテナを調整してください。

ご注意

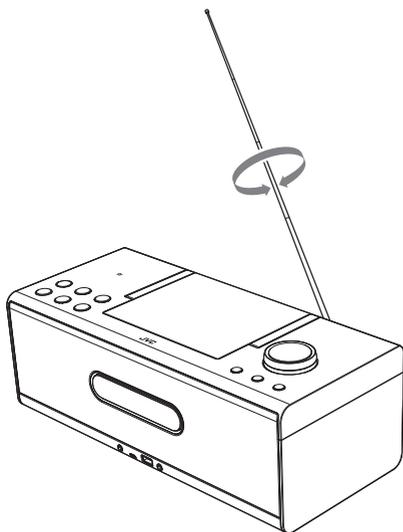
- 集合住宅など鉄筋構造の住居では、受信状態が悪くなります。放送を良好に受信できない場合は、付属の AM ループアンテナや本機を窓際に近づけてください。
- AM 放送の受信の妨げになる場合があるため、ループアンテナは電気製品（本機を含む）や、他のケーブルからできるだけ離して設置してください。

AM アンテナを調整する

付属の AM ループアンテナを左右に回して、最も受信状態の良い方向に向けて置きます。

AMループアンテナ（付属品）

FM アンテナを調整する

最もよく受信できるように、FM ロッドアンテナの角度および方向を調節してください。

放送局を記憶させる（プリセット）

FM および AM の放送局を、あわせて最大 40 局まで記憶させることができます。

1 **記憶させたい放送局を受信する**

2 **プリセット番号を表示する**

- 表示の数字部分が点滅します。数字が点滅している間に、以下の設定をしてください。

3 **記憶させたいプリセット番号を選ぶ**

（くり返し押す）

4 **記憶させる**

お知らせ

- プリセットを中止するには、[キャンセル] ボタンを押します。

記憶した放送局を呼び出す

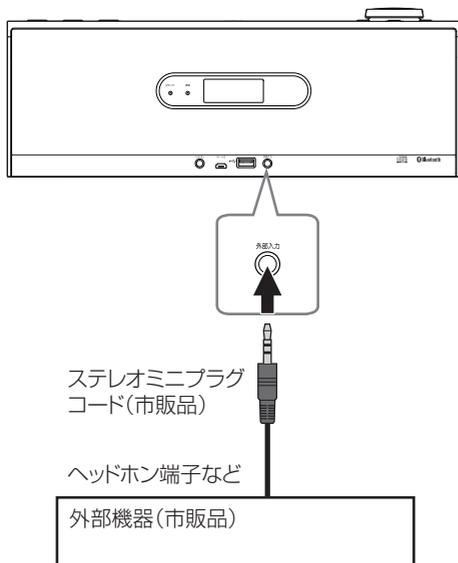
（くり返し押す）

外部機器を聴く

外部機器を接続する

・お使いの外部機器の取扱説明書もご覧ください。

1 **本機の音量を最小にする**

2 **外部入力端子に外部機器を接続する**

外部機器を聴く

1 **「AUDIO IN」を選ぶ**

リモコン	本体
PC入力/外部入力	ラジオ/入力切替
（くり返し押す）	（くり返し押す）

2 **外部機器の再生を始める**

3 **音量を調節する**

音声入力レベルを調節する

外部入力端子に接続した外部機器の音量が、他のソース（音源）と比べて差があるときは、入力レベルを調節してください。

押すたびに設定が切り換わります。

LEVEL 1 ： 通常の音声入力レベル

LEVEL 2 ： LEVEL 1 よりも高いレベル

LEVEL 3 ： LEVEL 2 よりも高いレベル

お知らせ

・お買い上げ時の設定は「LEVEL 3」です。

パソコンの音声を聴く

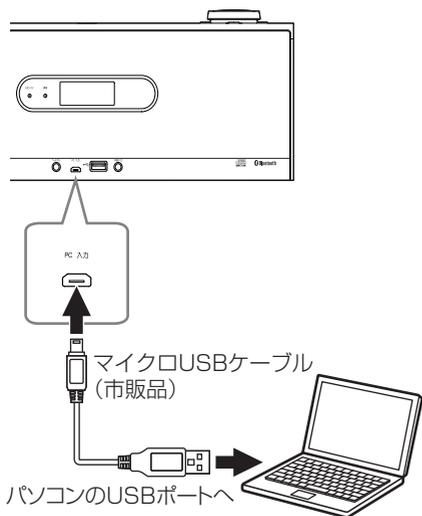
パソコンを接続する

お知らせ

・ お使いのパソコンの取扱説明書もご覧ください。

1 **本機の音量を最小にする**

2 **「PC IN」を選ぶ**

3 **PC 入力端子にパソコンを接続する**

・ ドライバーソフトウェアがインストールされます。パソコンで再生先を設定してください。

パソコンで再生先を設定する

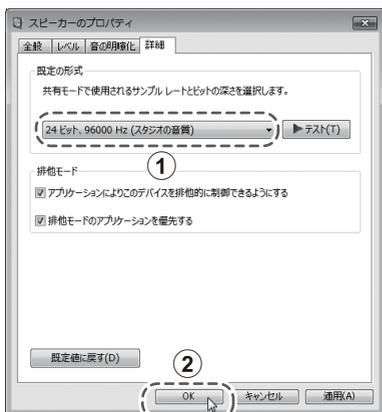
パソコンにインストールされたドライバーソフトウェアを設定します。

お知らせ

・ 本書では、Windows 7 を例に説明します。

1 **Windows のタスク バーにあるスピーカーアイコンを右クリックし（①）、[再生デバイス]をクリックする（②）**

2 **[JKC USB Audio]を選んでから（①）、[プロパティ]をクリックする（②）**

3 [詳細]タブの「既定の形式」でお好みの設定を選んでから(①)、[OK]をクリックする(②)

- ここで選んだ設定によって、音質の上限が決まります。再生する音質に合う設定を選んでください。

お知らせ

- お使いの USB ケーブルによっては、接続できないことがあります。

パソコンの音声を聴く

1 パソコンで音楽や動画を再生する

2 音量を調節する

お知らせ

- 他のソース(音源)に切り換えた後などに、再度「PC IN」を選んでも音が出ないときは、以下の手順をお試しください。
  - パソコンのスピーカーアイコンにミュート(消音)マークが付いていたら、クリックして解除する。
  - パソコンの再生ソフトを一度終了して、再開する。
  - 前ページの再生先の設定を確認(再設定)する。
  - パソコンの再生ソフトに再生先の設定がある場合は、「JKC USB Audio」を選択する。

USB メモリーに録音する

音楽 CD を録音する

あなたがラジオ放送や CD、テープなどから録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

ご注意

- 録音する前に、空き容量が十分にある USB メモリーを USB 端子に接続してください。(p. 19)
- BLUETOOTH 機器やパソコンから録音することはできません。
- MP3/WMA/FLAC/WAV ファイルを記録した CD-R など、音楽 CD 以外のディスクから録音することはできません。
- 録音中に本機に衝撃を与えたり、揺らしたりしないでください。録音が正常に行われない可能性があります。
- スリープタイマー動作中は録音できません。

お知らせ

- 録音中に本機の音量や音質を変えても、録音される音声には影響ありません。
- 録音時、CD のランダム再生やリピート再生はできません。
- ファイル形式は MP3（ビットレート:192 kbps）で録音されます。
- ファイル、フォルダーの構造については「録音されるファイル」(p. 41)をご覧ください。

録音速度を選ぶ(デジタル録音時のみ)

CD をデジタル録音するときは、録音速度を設定することができます。

ソース（音源）が「CD」のときに

（くり返し押す）

一度押すと現在の設定を表示し、さらに押すと設定が切り換わります。

NORMAL： 通常速度
録音中に音が聴けます。

HIGH ： 高速（約 2 倍速）
録音中は音が聴けません。
設定中は「HIGH」アイコンが点灯します。

お知らせ

- お買い上げ時の設定は「NORMAL」です。
- 設定は電源を切っても記憶されます。

音楽 CD をデジタル録音する

1 ソース（音源）を「CD」にする

リモコン　本体

2 再生を停止する

リモコン　本体

3 録音を始めたい曲を選ぶ

リモコン　本体

（くり返し押す）　（くり返し押す）

- 選んだ曲から CD の最後の曲まで録音されます。CD の全曲を録音したいときは 1 曲目を選んでください。
- お好みの曲順で録音したいときは、あらかじめプログラムして再生停止にしておいてください。（p. 21）

4 録音する

リモコン　本体

- 「RECSTART」と表示され、録音インジケーターが点灯します。
- CD の最後まで録音が終わると、自動的に停止し、録音インジケーターが消灯します。
- 途中で録音を停止したいときは、[■] ボタンを押します。

お知らせ

- 曲ごとにファイルができます。

音楽 CD から 1 曲だけデジタル録音する

1 曲だけ選んで録音することもできます。

1 ソース（音源）を「CD」にする

リモコン　本体

2 録音をしたい曲を選ぶ

リモコン　本体

（くり返し押す）　（くり返し押す）

3 再生または一時停止にする

リモコン　本体

4 録音する

リモコン　本体

- その曲の最初から録音が始まります。
- 「RECSTART」と表示され、録音インジケーターが点灯します。
- 1 曲録音が終わると、自動的に停止し、録音インジケーターが消灯します。
- 途中で録音を停止したいときは、[■] ボタンを押します。

音楽 CD をアナログ録音する

SCMS(p. 41)によりデジタル録音できない場合などは、アナログ録音してください。

録音は通常速度です。録音中に音が聴けます。

1 **ソース(音源)を「CD」にする**

リモコン　　本体

2 **再生を停止する**

リモコン　　本体

3 **録音を始めたい曲を選ぶ**

リモコン　　本体

(くり返し押す)　　(くり返し押す)

- 選んだ曲から CD の最後の曲まで録音されます。CD の全曲を録音したいときは 1 曲目を選んでください。
- お好みの曲順で録音したいときは、あらかじめプログラムして再生停止にしておいてください。(p. 21)

4 **録音待機にする**

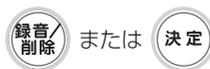
リモコン　　本体

(押し続ける)　　(押し続ける)

アナログ録音モードになり、「ANLG REC」表示が点滅します。

5 **録音を始める**

「ANLG REC」表示が点滅中に

リモコン　　本体

または 決 定

- 「RECSTART」と表示され、録音インジケーターが点灯します。
- CD の最後まで録音が終わると、自動的に停止し、録音インジケーターが消灯します。
- 途中で録音を停止したいときは、[■] ボタンを押します。

お知らせ

- 曲を再生中または一時停止中に、録音/削除ボタンを押し続けると、その曲だけの 1 曲録音ができます。
- 曲ごとにファイルができます。

ラジオ/外部機器を録音する

ラジオ放送や外部機器の音を USB メモリーに録音することができます。

録音は通常速度です。録音中に音が聴けます。

ご注意

- 外部機器から録音する場合は、接続して音声入力レベルを調節しておいてください。(p. 27)

録音する

ご注意

- 録音ファイルが 2 GB(約 20 時間)に達した場合、自動的に録音が停止します。

1 **録音したいソース(音源)を選ぶ**

2 **録音する**

リモコン

本体

- 外部機器から録音する場合は、外部機器の再生を始めてください。
- 「RECSTART」と表示され、録音インジケーターが点灯します。
- マーキングの設定(下記)を「MANUAL」に設定したときは、録音中に曲を区切りたい(別のファイルにしたい)ところで[決定]ボタンを押します。

3 **録音を停止する**

リモコン

本体

- 録音インジケーターが消灯します。

録音中に曲を区切る(マーキング)

ラジオ/外部機器の録音中に曲を区切って、ファイルを分けることができます(マーキング)。マーキングを手動で行うか、自動で行うかを設定します。

ご注意

- 録音を始める前に設定しておいてください。

ソース(音源)が「FM」、「AM」または「AUDIO IN」のときに

(くり返し押す)

一度押すと現在の設定を表示し、さらに押すと設定が切り換わります。

MANUAL : 自動的には曲を区切りません。録音中に[決定]ボタンを押すたびに、曲を区切ります。

TIME : 5 分ごとに、自動的に曲を区切ります。

お知らせ

- お買い上げ時の設定は「MANUAL」です。
- 曲が区切られるとき、約 1 秒間音が途切れます。
- 設定は電源を切っても記憶されます。

曲を削除する

USB メモリーに録音されている曲を 1 曲ずつ削除することができます。

ご注意

- 曲を削除する前に、USB メモリーを USB 端子に接続してください。
- 削除した曲は元に戻すことができません。削除するときは、よく確認してください。

1 **ソース（音源）を「USB」にする**

リモコン　　本体

2 **削除したい曲を選び、再生または一時停止にする**

3 **削除待機にする**

リモコン　　本体

- 「DELETE」表示が点滅し、削除待機になります。
- [キャンセル]ボタンまたは[■]ボタンを押すと、削除を中止します。

4 **削除する**

リモコン　　本体

- ディスプレイに「DELETING」と表示され、ファイル削除が終わると「DEL FIN」と表示されます。

音質や表示を変える

お好みの音質に設定する

1 「BASS」または「TREBLE」を選ぶ

（くり返し押す）

- 低音を調節するときは、「BASS」を選びます。
- 高音を調節するときは、「TREBLE」を選びます。

2 「BASS」または「TREBLE」表示が点灯している間に、音質を調節する

（くり返し押す）

- それぞれ以下の範囲で調節できます。
  低音 ： BASS -8 ～ BASS +8
  高音 ： TREBLE -8 ～ TREBLE +8

お知らせ

- ［低音/高音］ボタンを押すと、サウンドモードが「USER」に切り換わります。
- ヘッドホンからの音声にも効果があります。
- 録音音質に影響はありません。

重低音を強める

（くり返し押す）

押すたびに設定が切り換わります。

HBS ： 重低音を強調します。

OFF ： 重低音の強調を解除します。

お知らせ

- お買い上げ時は、「HBS」がオンになっています。
- ヘッドホンからの音声にも効果があります。
- 録音音質に影響はありません。

サウンドモードを使う

曲の種類に合わせて、サウンドモードを選べます。

（くり返し押す）

一度押すと現在の設定を表示し、さらに押すと設定が切り換わります。

FLAT ➡ CLASSIC ➡ JAZZ ➡ ROCK ➡
POP ➡ USER ➡ （最初に戻る）

お知らせ

- お買い上げ時の設定は「FLAT」です。
- 「USER」を選ぶと、［低音/高音］ボタンで設定した音質になります。
- ヘッドホンからの音声にも効果があります。
- 録音音質に影響はありません。

表示される情報を変える

（くり返し押す）

押すたびに各種の情報表示に切り換わります。

お知らせ

- ソース（音源）によって、表示される情報は異なります。
- 本機は ID3 TAG VERSION1,2（曲名、アーティスト名、アルバム名）、ファイル名、フォルダー名を表示できます（ただし半角英数字のみ、小文字は大文字で表示されます）。

タイマーを使う

スリープタイマーを設定する

設定した時間が経過すると、自動で電源が切れる機能です。

（くり返し押す）

押すたびに電源が切れるまでの時間（単位：分）が次のように切り換わります。

SLEEP 10 ➡ SLEEP 20 ➡ SLEEP 30 ➡
SLEEP 60 ➡ SLEEP 90 ➡ SLEEP 120 ➡
SLEEP 150 ➡ SLEEP 180 ➡ SLEEP OFF ➡
（最初に戻る）

- スリープタイマーを設定すると、「SLEEP」アイコンが点灯します。
- スリープタイマーを設定すると、表示部が「DIM 2」の明るさになります。
- スリープタイマーを解除するときは、「SLEEP OFF」を選んでください。

お知らせ

- スリープタイマーの動作中もオートパワーセーブ（p. 13）は有効です。

残り時間を確認する

残り時間を 5 秒間表示します。

デイリータイマーを設定する

デイリータイマーを使うと、お好みの音楽で目覚めることができます。

デイリータイマーは 2 つまで設定可能です。

ご注意

- あらかじめ時計を合わせておいてください。（p. 12）
- あらかじめソース（音源）を準備し、動作することを確かめてください。

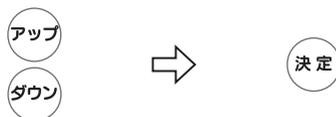
1 **「PLAY1TMR」または「PLAY2TMR」を選ぶ**

（くり返し押す）

2 **決定する**

3 **「PLAY1SET」または「PLAY2SET」を選び、決定する**

（くり返し押す）

4 **タイマーの内容を設定し、決定する**

（くり返し押す）

以下の各項目を設定してください。

- タイマーの開始時刻と終了時刻の「時」、「分」
- 再生するソース（音源）

  「CD」、「USB」、「AUDIO IN」、「PC IN」、「TUNER」から選びます。

  - 「CD」または「USB」のときは曲番号
  - 「TUNER」のときはプリセット番号
- 音量

音量まで設定が終わると、「PLAY SET」と表示されたあと、設定内容が順番に表示されます。

5 **電源を切る**

リモコン　　本体

電 源　　電源

⏻/I　　⏻/I

- デイリータイマーの開始時刻約 30 秒前になると自動的に電源が入り、再生が始まります。
- デイリータイマーは、本機の電源が切れているときのみ作動します。
- デイリータイマーが設定されているときは、「⏻PLAY」アイコンが点灯します。
- デイリータイマーの作動中は、作動中の「⏻PLAY」アイコンが点滅します。
- デイリータイマーは一度設定すると、毎日同じ内容で作動します。
- 開始時刻と終了時刻に同じ時刻を設定することはできません。

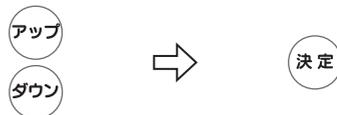
お知らせ

- 操作の途中で[キャンセル]ボタンを押すと、前の手順に戻ります。
- デイリータイマーの動作中もオートパワーセーブ（p. 13）は有効です。
- デイリータイマーの動作中は、[スリープ]ボタンは無効になります。

デイリータイマーを解除する

「PLAY1TMR」から「PLAY1OFF」を選ぶ

または、

「PLAY2TMR」から「PLAY2OFF」を選ぶ

（くり返し押す）

- 「TIMEROFF」と表示されます。

一度解除したデイリータイマーを、内容を変えずに再設定する

「PLAY1TMR」から「PLAY1ON」を選ぶ

または、

「PLAY2TMR」から「PLAY2ON」を選ぶ

（くり返し押す）

- 「TIMER ON」と表示されたあと、設定内容が表示されます。

お知らせ

- 停電したときは、デイリータイマーの設定が解除されます。本機の時計を設定（p. 12）した後に、上記の方法でデイリータイマーを再設定してください。

録音タイマーを設定する

ラジオ放送や外部機器を USB メモリーにタイマー録音できます。

お知らせ

- あらかじめ時計を合わせておいてください。(p. 12)
- あらかじめソース(音源)を準備し、動作することを確かめてください。
- あらかじめ USB メモリーを接続しておいてください。

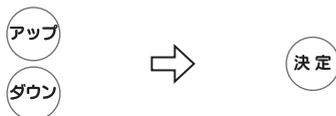
1 「REC1 TMR」または「REC2 TMR」を選ぶ

(くり返し押す)

2 決定する

3 「REC1 SET」または「REC2 SET」を選び、決定する

(くり返し押す)

4 タイマーの内容を設定し、決定する

(くり返し押す)

以下の各項目を設定してください。

- タイマーの開始時刻と終了時刻の「時」、「分」
- 再生するソース(音源)
  「TUNER」または「AUDIO IN」から選びます
  - 「TUNER」のときはプリセット番号
- 音量

音量まで設定が終わると、「REC SET」と表示されたあと、設定内容が順番に表示されます。

5 電源を切る

- 録音タイマーの開始時刻約 1 分前になると、自動的に電源が入り、録音が始まります。
- 録音タイマーは、本機の電源が切れているときのみ作動します。
- 録音タイマーが設定されているときは、「REC」アイコンが点灯します。
- 録音タイマーの作動中は、作動中の「REC」アイコンが点滅します。
- 録音タイマーは、設定後一度だけ作動します。(終了後も設定内容は保存されています。)
- 開始時刻と終了時刻に同じ時刻を設定することはできません。

お知らせ

- 操作の途中で[キャンセル]ボタンを押すと、前の手順に戻ります。
- 録音タイマーの作動中は、[時計/タイマー]および[スリープ]ボタンは無効になります。
- 録音タイマーの作動中は、[時計/タイマー]ボタンおよび[スリープ]ボタンは無効になります。

録音タイマーを解除する

「REC1 TMR」から「REC1 OFF」を選ぶ
または、

「REC2 TMR」から「REC2 OFF」を選ぶ

（くり返し押す）

- 「TIMEROFF」と表示されます。

録音タイマーを内容を変えずに再設定する

「REC1 TMR」から「REC1 ON」を選ぶ
または、

「REC2 TMR」から「REC2 ON」を選ぶ

（くり返し押す）

- 「TIMER ON」と表示されたあと、設定内容が表示されます。

お知らせ

- 停電したときは、録音タイマーの設定が解除されます。本機の時計を設定（p. 12）した後に、上記の方法で録音タイマーを再設定してください。

その他の情報

使用できる BLUETOOTH 機器

- BLUETOOTH での接続には、BLUETOOTH 2.1+EDR に対応し、A2DP と AVRCP のプロファイルに対応している必要があります。

再生できる CD とファイル

- CD 規格（CD-DA）に準拠しない CD については、動作や音質を保証できません。
  CD を再生する際は、「CD ロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD 規格に準拠する CD であることをお確かめください。
- CD の特性･記録状態･傷･汚れ、またはプレーヤーのレンズの汚れ･結露などにより本機で再生できないことがあります。
- CD の使用上のご注意をよくお読みください。
- CD テキストの表示には対応しておりません。

CD	下記のマークのある CD を再生することができます。 COMPACT disc DIGITAL AUDIO　COMPACT disc Recordable　COMPACT disc ReWritable
ファイル	・音楽 CD フォーマットの CD-R/CD-RW ・CD-R/CD-RW または USB メモリーの MP3/WMA/FLAC/WAV ファイル

USB メモリーのご注意

- USB メモリーの容量は 16GB 以下を推奨します。
- 収録されているファイルが多いほど、本機の読み込み時間が長くかかります
- ソニー製ウォークマンなど、独自のソフトウェアで音楽ファイルを管理しているオーディオプレーヤーは、本機の外部入力端子に接続して再生してください。（p. 27）
- USB メモリーのセキュリティ機能は、接続する前に解除してください。
- USB ハブは使用しないでください。
- USB メモリーが複数のパーティションに分かれている場合は、先頭のパーティションのみ認識します。
- 本機の電源が入っているときは、USB メモリーに電源供給および充電されます。
- すべての USB メモリーの動作を保証するものではありません。
- USB メモリーの取扱説明書もご覧ください。

CD-R/CD-RW のご注意

お客様が編集した CD-R/CD-RW は、ファイナライズ処理されている CD に限り本機でお楽しみいただけます。

- CD-R/CD-RW を作成するときは、フォーマットを「ISO 9660 Level1」にしてください。また、パケットライト方式（UDF フォーマット）は使用しないでください。
- 音楽用の CD フォーマットまたは MP3/WMA/FLAC/WAV ファイル以外で記録したことのある CD-RW は、いったん全曲を消去してください。そのまま使用すると、突然大きな音が出てスピーカーを破損するなどの原因になります。
- MP3/WMA/FLAC/WAV ファイルの入った CD-R/CD-RW は、通常の音楽 CD よりも読み取りに時間がかかります。（フォルダーやファイルの構成により読み取り時間は異なります。）

オーディオファイルのご注意

- 本機で再生できるのは、<.mp3>/<.MP3>、<.wma>/<.WMA>、<.fla>/<.FLA>、<.flac>/<.FLAC>、<.wav>/<.WAV>の拡張子がついているオーディオファイルです。
- 本機では、以下のような転送レートとサンプリング周波数で作成されたオーディオファイルを再生できます。

サンプリング周波数

オーディオファイル	サンプリング周波数
MP3	32 kHz、44.1 kHz、48 kHz
WMA	32 kHz、44.1 kHz、48 kHz
FLAC	• CD/USB： 32 kHz、44.1 kHz、48 kHz • USB のみ： 88.2 kHz、96 kHz
WAV	• CD/USB： 32 kHz、44.1 kHz、48 kHz • USB のみ： 88.2 kHz、96 kHz

転送レート

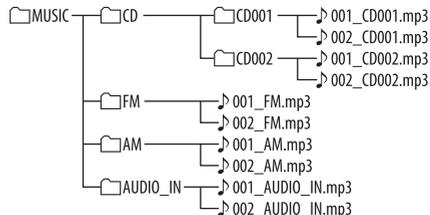
オーディオファイル	転送レート
MP3	32 kbps 〜 320 kbps
WMA	32 kbps 〜 320 kbps

量子化ビット数

オーディオファイル	量子化ビット数
FLAC	16 bit、24 bit
WAV	16 bit、24 bit

- 本機は USB メモリー 1 つあたり最大 255 のフォルダーおよび 3000 曲を認識します。また、CD1 枚あたり最大 99 のフォルダーおよび 999 曲を認識します。
- DRM（著作権保護）ファイルは再生できません。
- 1 曲が 2GB 以上のファイルは再生できません。
- 録音状態や記録方法によっては再生できないオーディオファイルもあります。その場合、再生できないファイルはスキップされます。
- ソース（音源）で「PC IN」を選んで再生する場合は、オーディオファイルの形式にかかわらず、パソコン側で設定したサンプリング周波数/ビット数のリニア PCM として再生されます。
- オーディオファイルの再生順について
（オーディオファイルを含まないフォルダーは無視されます。）
  - 再生時は、先に作成したフォルダーから順番に再生します。フォルダー内では、録音した曲順で再生します。
  - パソコンを使ってフォルダー名やファイル名（曲名）を変えた場合は、順番が変わることがあります。

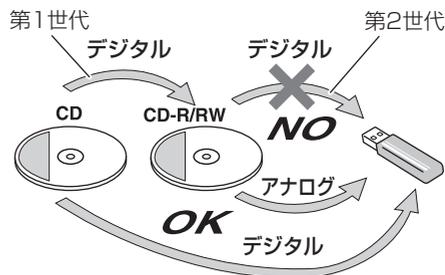
録音されるファイル

- 本機で録音してできるファイルは、ビットレートが 192 kbps の MP3 ファイルです。
- USB メモリーに「MUSIC」フォルダーが自動的に作成され、さらにその中に以下のように MP3 ファイルが録音されます。

SCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）

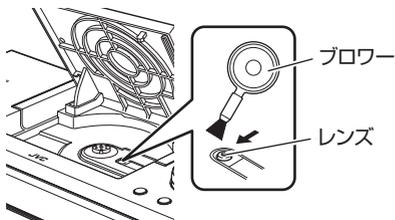
CD のクリアな音を他のデジタル機器（MD、メモリー、USB など）にデジタル録音した場合、1 度録音した機器から他の機器に再びデジタル信号のままコピーすることはできないようになっています。つまり、「コピーのコピー」を作ることはできません。この決まりを SCMS（シリアル・コピー・マネージメント・システム）といいます。

シリアル・コピー・マネージメント・システムとは、著作権保護のため、デジタルオーディオ機器間でデジタル信号のままコピーできるのは 1 世代だけと規定したものです。本機は、この決まりに準拠して設計されています。

ご注意

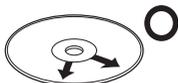
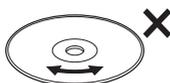
- この規定により、一度デジタル録音された CD からは、USB メモリーにデジタル録音することはできません。

お手入れについて

CD プレーヤーのレンズのお手入れ

レンズの汚れは音飛びなど演奏ができなくなる原因になります。CD トレイのカバーを開け、図のようにレンズを清掃してください。

- ほこりなどは市販のクリーニングキットのブロワーを使って、はき出してください。
- 市販の CD レンズクリーナー(乾式タイプ)を利用してください。

CD の取り扱いとお手入れ

ケースから出すとき

- CD にテープやシールを貼ったり、字を書いたりしないでください。
- CD は曲げないでください
- ハートや花などの形をしたシェイプ CD(特殊形状の CD)は、絶対に使用しないでください。故障の原因となります。
- CD をお手入れするときは、ほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。

必ず内側から外側へ

連続したキズは音飛びの原因となります。

- シンナーやベンジンなどの溶剤は絶対に使用しないでください。

商標

- AirPlay, iPad, iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod touch, and Retina are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. iPad Air, iPad mini, and Lightning are trademarks of Apple Inc. The trademark “iPhone” is used with a license from Aiphone K.K.
- Microsoft、Windows Media は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc が所有する登録商標であり、
株式会社 JVC ケンウッドは、これらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- Android は Google Inc.の商標です。
- N-Mark は米国およびその他の国における NFC Forum, Inc.の商標または登録商標です。

故障かな？と思ったら

問題の多くは、当社ホームページ
http://www3.jvckenwood.com/
から最新の製品 Q&A 情報をご覧いただくことで解決できます。

カスタマーサポートセンターにご相談になる前にホームページや下記をチェックしてください。

ホームページの内容は予告なく変更になることがあります。

以下の処置をしても正しく動作しないときは

本機はマイコンの働きで、多くの動作を行なっています。どのボタンを押しても正しく動作しないときは、一度電源コードをはずし、しばらく待ってから接続し直してください。

共通

電源が入らない。

➡ 電源コードを正しく接続してください。

突然電源が切れてしまう。

➡ オートパワーセーブ（節電機能）が働いています。（p. 13）

設定の途中で操作が取り消されてしまう。

➡ 操作には時間制限があるものがあります。もう 1 度操作し直してください。

リモコンで操作できない。

➡ リモコンと本体のリモコン受光部との間が遮られていませんか。

➡ リモコンの電池が消耗していませんか。新しい電池と交換してください。

音声が聴こえない。

➡ 音量が最小になっていませんか。

➡ ヘッドホンをはずしてください。

USB メモリー/CD

再生できない。

➡ USB メモリーを正しく接続してください。

➡ CD はラベル面を上にして入れてください。

➡ CD またはレンズが汚れていませんか。CD またはレンズを清掃してください。（p. 42）

➡「パケットライト方式(UDF フォーマット)」で録音された CD は再生できません。

➡ ソニー製ウォークマンは、USB 接続できません。本機の外部入力端子に接続してください。（p. 27）

MP3/WMA/FLAC/WAV のグループやトラックが意図したように再生できない。

➡ 再生順は、グループやトラックを録音した書き込みソフトによります。

USB メモリーや CD からの音声が途切れる。

➡ 汚れや傷のある CD は、清掃するか交換してください。

➡ 正しく書き込まれた MP3/WMA/FLAC/WAV ファイルを再生してください。

➡ 本機の電源を切り、USB メモリーを接続し直してください。

USB メモリーに録音したファイルを CD-R にコピーしたい。

➡ パソコンでの操作になりますので、お使いのパソコンのメーカーにご相談ください。

ラジオ

放送が聴こえない。

➡ アンテナを正しく接続してください。(p. 10)

雑音が多く放送が聴きづらい。

➡ AM アンテナを調節してください。(p. 26)

➡ FM アンテナを調節してください。(p. 26)

BLUETOOTH 機器

BLUETOOTH 機器に接続できない。

➡ 相手機器側の BLUETOOTH 機能がオンになっているか確認してください。

➡ お使いの BLUETOOTH 機器が、BLUETOOTH プロファイルの A2DP に対応しているか確認してください。

➡ NFC でタッチした後に接続が切れる場合は、相手機器(スマートフォンなど)側の「Bluetooth」を「オン」にしてください。

本機から BLUETOOTH 機器を操作できない。

➡ お使いの BLUETOOTH 機器が、BLUETOOTH プロファイルの AVRCP に対応しているか確認してください。

音が途切れる。雑音が入る。

➡ BLUETOOTH の距離限界を超えているか、本機との間に電波に干渉する機器などがある可能性があります。本機に近づけても改善されない場合は、本機の設置場所を変更してみてください。

録音

録音できない。

➡ USB メモリーの空き容量がありません。

➡ USB メモリーの書き込み禁止を解除してください。

➡ SCMS でデジタル録音が禁止されています。アナログ録音してください。(p. 32)

タイマー

スリープタイマーが設定できない。

➡ デイリータイマーまたは録音タイマーが働いていませんか。デイリータイマー/録音タイマー中は、スリープタイマーは働きません。

デイリータイマーが作動しない。

➡ 電源が入っていませんか。デイリータイマーを作動させるには、電源を切ってください。

録音タイマーが作動しない。

➡ 電源が入っていませんか。録音タイマーを作動させるには、電源を切ってください。

主な仕様

アンプ部

実用最大出力:	13 W + 13 W (JEITA* 4Ω)

CD プレーヤー部

対応形式:	音楽 CD、CD-R/CD-RW（ISO9660 Level1） MP3、WMA、FLAC、WAV

チューナー部

受信周波数:	FM: 76.0 MHz - 95.0 MHz
	AM: 531 kHz - 1 602 kHz
アンテナ:	FM: ロッドアンテナ
	AM: ループアンテナ

入出力端子

USB ホスト:	出力:	DC 5 V ⎓ 1 A
	仕様:	USB2.0 フルスピード規格対応
	対応機器:	USB マスストレージクラス機器
	ファイルシステム:	FAT16、FAT32
	対応ファイル形式:	MP3、WMA、FLAC、WAV
PC 入力: （micro USB）	USB Audio Class 1.0	
	対応サンプリング周波数:	32 kHz、44.1 kHz、48 kHz、88.2 kHz、96 kHz
	対応ビット数:	16 ビット、24 ビット
外部入力: （感度）	ステレオミニ（Ø 3.5 mm）x 1	
	LEVEL 1: 600 mV/47 kΩ	
	LEVEL 2: 300 mV/47 kΩ	
	LEVEL 3: 150 mV/47 kΩ	
ヘッドホン:	ステレオミニ（Ø 3.5 mm）x 1	

BLUETOOTH 部

規格:	BLUETOOTH Ver. 2.1 + EDR
送信出力:	Class 2
最大通信距離:	見通し距離約 10 m （使用環境によって異なります）
使用周波数帯域:	2.4 GHz 帯
対応 BLUETOOTH プロファイル:	A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile) SPP（Serial Port Profile）
対応コーデック:	SBC、AAC
対応コンテンツ保護	SCMS-T 方式
NFC 接続:	対応

共通部

電源:	AC 100 V、50 Hz / 60 Hz 20 W(動作時) 3 W 以下 (BLUETOOTH スタンバイ時) 0.5 W 以下(電源待機時)
最大外形寸法:	幅 380 mm × 高さ 145 mm × 奥行き 191 mm
質量:	3.1 kg

スピーカー部

スピーカーユニット:	9 cm　コーン型
インピーダンス:	4 Ω

*は JEITA(電子情報技術産業協会)の測定法に基づく数値です。
本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

保証書

所定事項記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。保証期間はお買い上げの日より 1 年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

製造打ち切り後 8 年です。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

お客様にご記入いただいた保証書は、保証期間中、およびその後の点検･サービス活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。

1. 保証期間中、取扱説明書および本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合は、無償修理または本体部の交換をさせていただきます。その際、当社の判断で再生部品を用いる場合があります。商品と本書をお買い上げの販売店にご持参ご提示のうえ、修理をご依頼ください。
2. 保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
3. 次のような場合は保証期間内でも有料修理にさせていただきます。

(1) 本書のご提示がない場合。

(2) 本書に型名、製造番号、お買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ販売店名の記載がない場合。

(3) ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。

(4) お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障および損傷。

(5) 火災、地震、風水害、雷その他の天災地変、虫害、塩害、公害、ガス害（硫化ガスなど）や異常電圧、指定以外の使用電源（電圧･周波数）による故障および損傷。

(6) 不具合の原因が本製品以外（外部要因）による場合。

(7) 一般家庭用以外（例えば業務用などへの長時間使用および車輛、船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷。

(8) 消耗品（電池など）の消耗。

(9) （持込修理対象商品の場合）

持込修理の対象商品を直接メーカーへ送付した場合の送料はお客様負担とさせていただきます。また、出張修理を行なった場合には、出張料はお客様負担とさせていただきます。

(10) (出張修理対象商品の場合）

離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行なった場合は、出張に要する実費を申し受けます。

(11) 不注意、許可なしに行なった修正/改造、あるいは事前承諾を得ずに付加した部品またはインストールしたソフトウエア、ファームウエアが原因となって損傷が発生した場合。

4. この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって株式会社 JVC ケンウッドおよびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.

- 修理などのアフターサービスについて、下記ホームページをご覧ください。

  http://www3.jvckenwood.com/support/hrepair.html

- 商品や修理（アフターサービスなど）に関するお問い合わせは、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。

フリーダイヤル 0120-2727-87

（携帯電話、PHS、IP 電話からは 045-450-8950、FAX 045-450-2308）

受付時間 月曜～金曜 9:30 ～ 18:00／土曜 9:30 ～ 12:00、13:00 ～ 17:30
（日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます）

保証書

持込修理

品名	オーディオ商品	製造番号
型名	RD-W1	

お客様	お名前	ふりがな 様
	ご住所	□□□-□□□□　電話（　　）　-

お買い上げ年月日	保証期間	お買い上げ日から
年　月　日		本体 1年間

お買い上げ店	住所・店名・電話

お客様へのお願い

1. 本書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ販売店名が記載されているかお確かめください。万一記入がない場合は直ちにお買い上げ販売店にお申し出ください。購入日の確認できる書類（シールやレシートなど）の添付でもかまいませんので、大切に保管してください。
2. 製造番号の記載がない場合は、お手数ですが、お買い上げ商品の製品番号をお確かめのうえ、記入をお願い致します。
3. ご贈答品などで、本書記載のお買い上げ販売店に修理がご依頼になれない場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
4. ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
5. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

ホームページ　http://www3.jvckenwood.com/

株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022　横浜市神奈川区守屋町3-12

0914KMYSANBET